

スロバキアに大使として赴任して

2024年5月18日(土)

Society Japan 1818 オンライン勉強会

中川 真

元駐スロバキア特命全権大使

「スロバキアって、 チェコスロバキアの
スロバキア？」

欧州の地理的中心

ブラチスラバを中心とした半径2000km圏内にEUのほぼ全土とモスクワが含まれる。



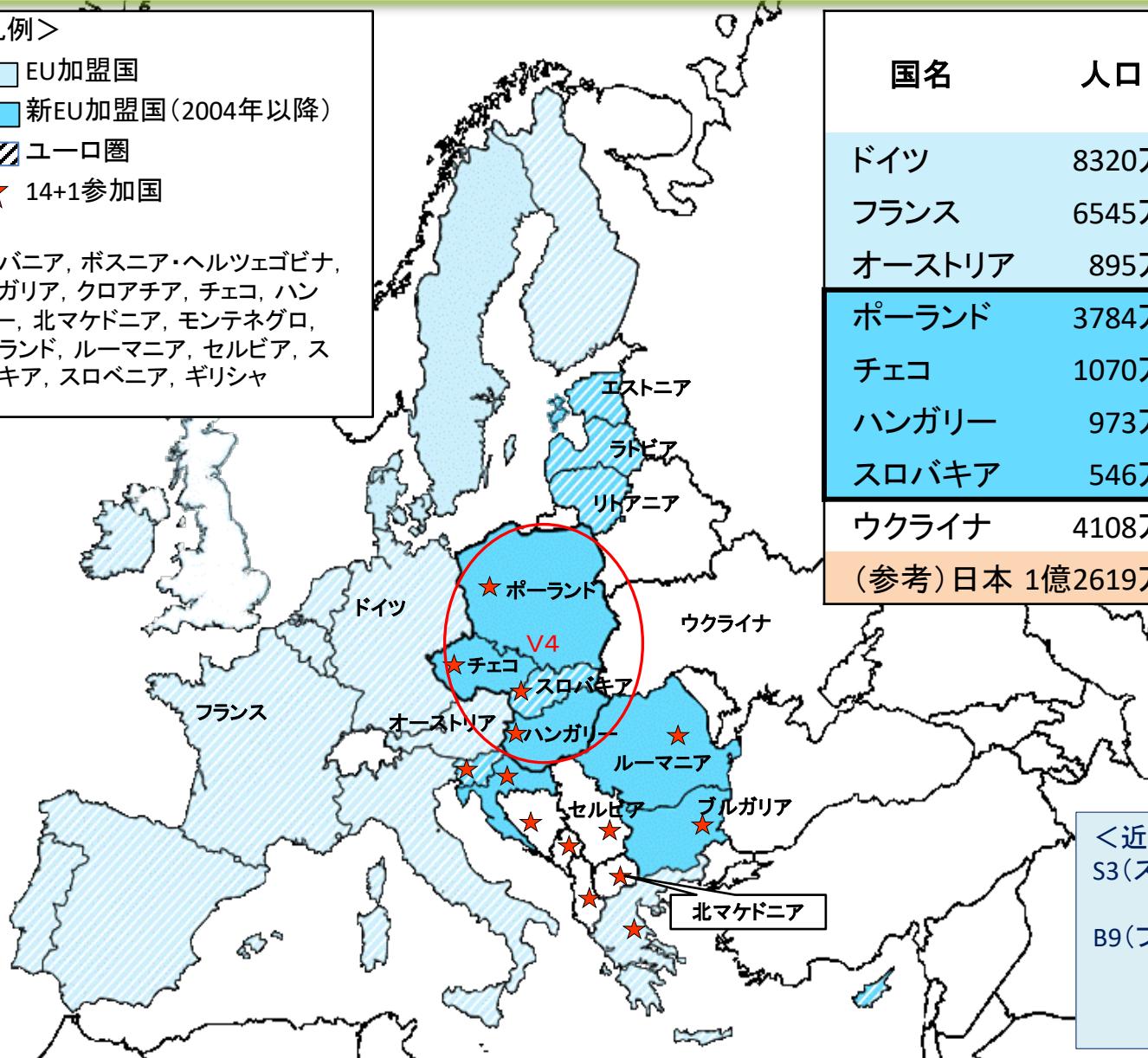
EUとスロバキア

EUの東の国境の一部を形成

<凡例>

- EU加盟国
- 新EU加盟国(2004年以降)
- ユーロ圏
- 14+1参加国

アルバニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、チェコ、ハンガリー、北マケドニア、モンテネグロ、ポーランド、ルーマニア、セルビア、スロバキア、スロベニア、ギリシャ



国名	人口	GDP (ドル)	一人当たり GDP(ドル, 名目ベース)
ドイツ	8320万人	4兆2259億	5万795
フランス	6545万人	2兆9355億	4万4853
オーストリア	895万人	4774億	5万3368
ポーランド	3784万人	6741億	1万7815
チェコ	1070万人	2826億	2万6411
ハンガリー	973万人	1846億	1万8968
スロバキア	546万人	1149億	2万1053
ウクライナ	4108万人	1983億	4827
(参考) 日本	1億2619万人	5兆1488億	4万802

2021年現在の数値
(一部データは速報値)
出典: IMF World Economic
Outlook Spring 2022

<近年の枠組>

S3(スラフコフ・スリー)

B9(ブカレスト・ナイン)

スロバキア基礎データ

面積

- 49,037km² (EUで20番目、日本の7分の1)

人口 (2023年)

- 543万人 (EUで18番目)
※チェコ:1083万人 ポーランド:3675万人 ハンガリー:960万人

GDP(名目) (2023年)

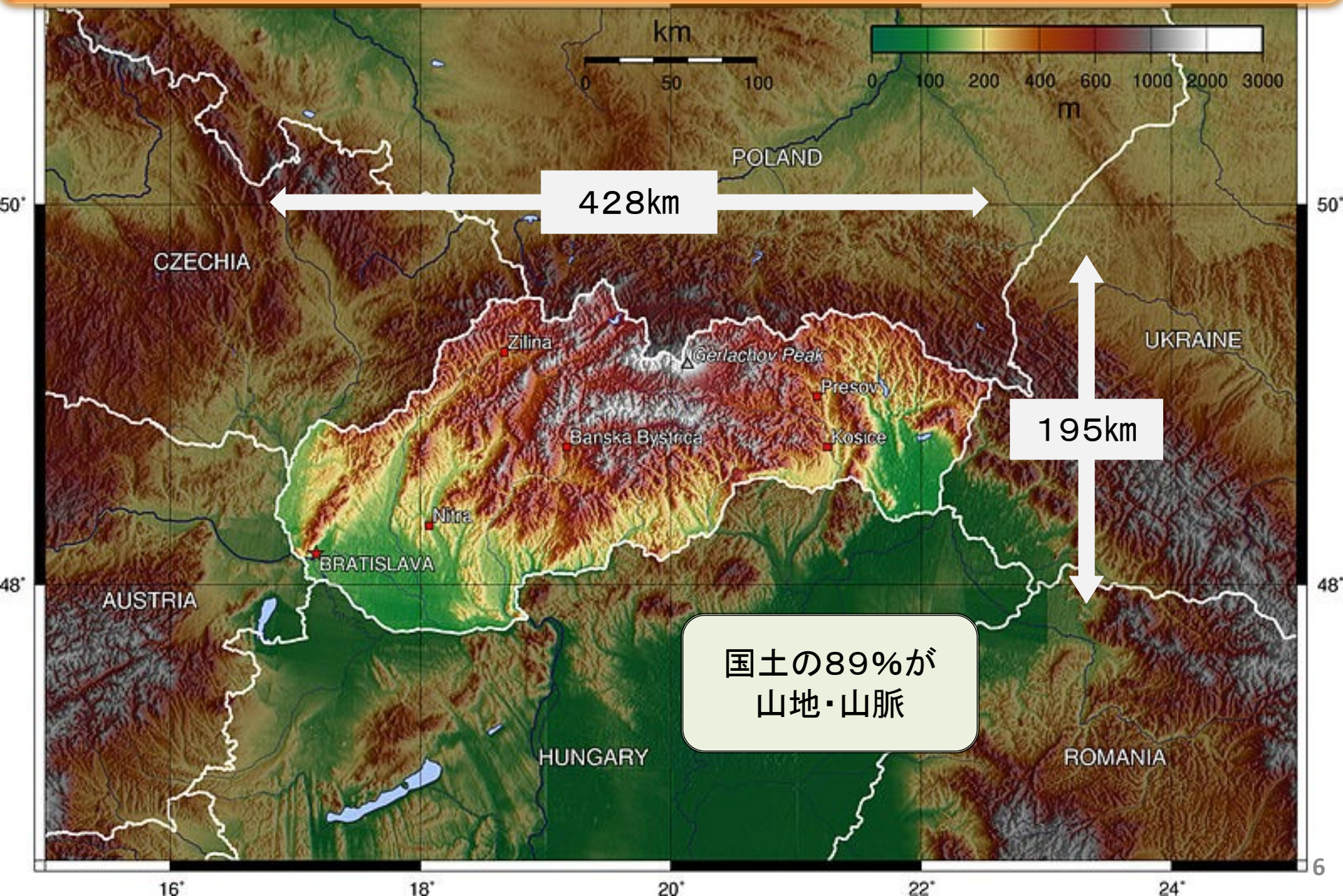
- 1222億ユーロ (EUで18番目)
※チェコ:3060億€ ポーランド:7477億€ ハンガリー:1964億€

一人当たりGDP (実質) (2023年)

- 16,400ユーロ (EUで19番目)
※チェコ:18,370€ ポーランド:14,700€ ハンガリー:14,370€

出典:EUROSTAT(一部数値は速報値)

スロバキアの地形



スロバキア略史

10世紀	大モラビア帝国滅亡、ハンガリー人支配下に
1918年	オーストリア・ハンガリー帝国崩壊、チェコスロバキア共和国建国
1939年	ナチス・ドイツの影響下、スロバキア国として独立
1945年	第二次大戦後、チェコスロバキア独立回復
1948年	共産主義体制確立
1968年	プラハの春
1989年	民主革命(ビロード革命)
1993年	チェコと分離し、スロバキア共和国として独立
2004年	NATO・EU加盟
2009年	ユーロ導入

スロバキアの政治状況

—フィツォ首相襲撃事件を理解するための背景—

スロバキアの政治機構

大統領



ズザナ・チャプトヴァー

Zuzana Čaputová (49)

2019.6.15-2024.6.15(任期:5年)

スロバキア初の女性大統領。法律家。

※大統領は国民による直接選挙で選出

【主要権限】

- 首相を任命
- 首相の提案に基づき閣僚を任命
- 法案への署名(拒否し、国会に差し戻すことができる)

首相



ロベルト・フィツォ

Mr. Robert Fico (59)

2023.10.25-

Smer-SD党首。

過去に3度首相を務めた。

【主要権限】

- 閣僚を大統領に提案
- 法案提出
- 予算案策定及び執行
- 外交政策の策定

国会議長(代行)

ペテル・ジガ(国会副議長)

Peter Žiga (52)

2024.4.17-

ペレグリニ氏が次期大統領
選出により国会議長を退任。

【主要権限】

- 国会の休会・再開を決定
- 大統領が病気等により職務遂行
不能の場合、大統領権限を首相
と分担して代行(首相任命、裁判
官任命等)



内政

内政: 旧連立政権への国民の不満を受け皿に、Smer-SDが復活勝利

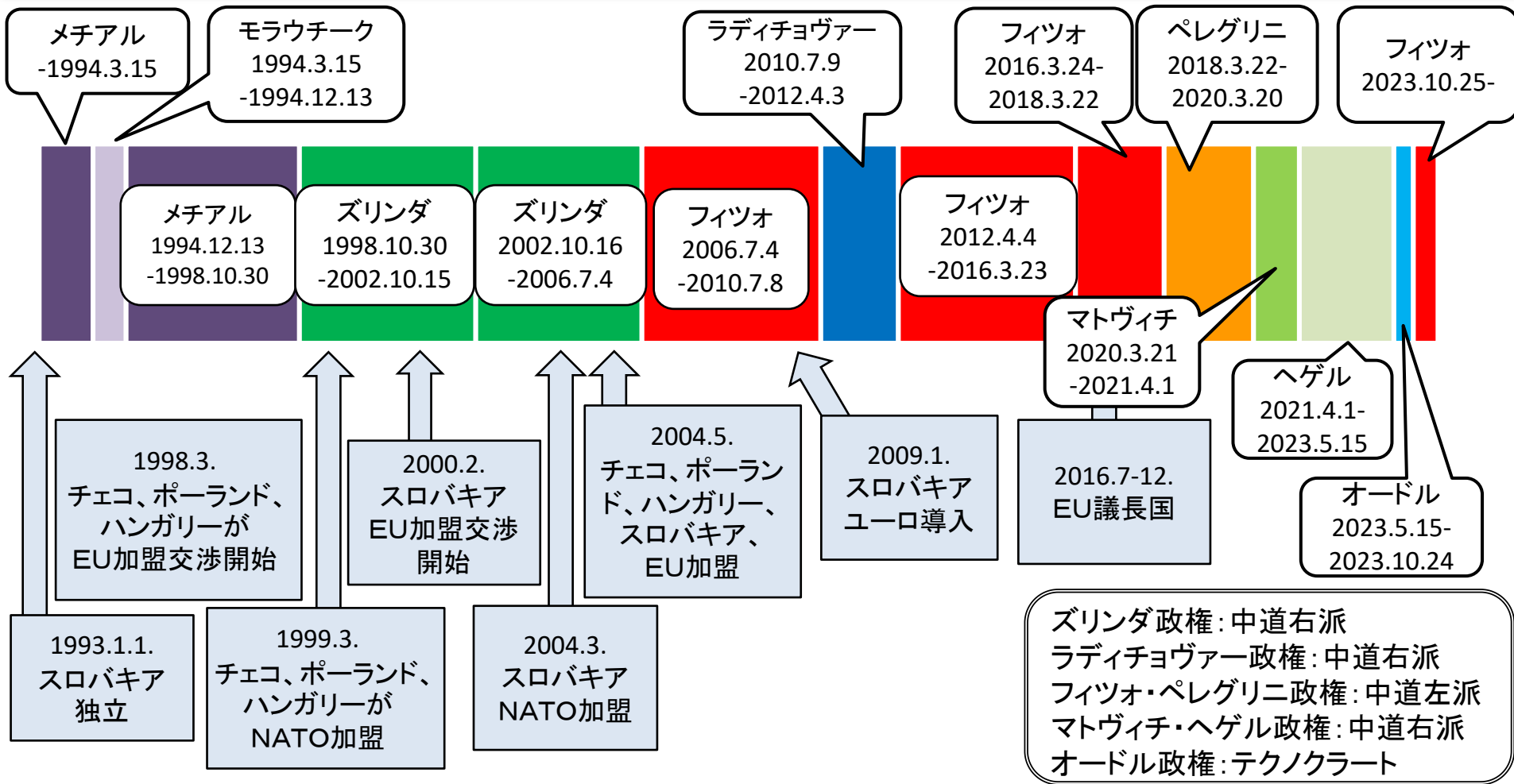
- 2018年2月のジャーナリスト殺害事件を機に、政治家の汚職疑惑やSmer-SD長期政権への国民の不満が噴出。
- 2019年3月の大統領選挙で、リベラル政党PS擁立のチャプトヴァー氏が、Smer-SD擁立候補を決選投票で破り当選。
- 2020年2月の国会総選挙で、反汚職を掲げる中道右派の野党OLaNOが勝利し、OLaNO, Sme rodina, SaS, Za ľudíの4党連立政権が発足。リベラル派のPS/Spoluは議席得られず。
- 2021年春、OLaNOのマトビッチ首相(当時)が突如、ロシアのコロナワクチン(スプートニク)の導入方針を表明したことから、連立政権内が混乱、OLaNOのヘゲル財務相が首相に。その後も、OLaNOとSaSの党首間の個人的不仲を核として度々連立の危機。2022年12月、SaSは連立を離脱、3党による少数与党政権に移行。国会でヘゲル連立政権に対する不信任決議が可決されるも、大統領が、繰上げ総選挙までヘゲル政権に暫定政権として政権運営委任。総選挙を2023年9月30日に前倒しする憲法改正。
- 2023年5月、財務相・保健相・農業相及び外相の辞意表明を受けて、大統領はヘゲル政権を解任。オールドルを首相とするテクノクラート政権を暫定政権として任命。国会はオールドル政権への信任決議を否決。
- 2023年9月の国会総選挙で、旧連立政権への国民の不満を受け皿にSmer-SDが復活勝利し、Smer-SD、Hlas-SD、SNSの3党連立政権が発足。Hlas-SDは、新政権が外交方針が変更する場合には、連立から離脱する意向を表明。
- 2024年4月の大統領選挙でペレグリニ国会議長(Hlas-SD)が野党の支持を受けるコルチョク元外相を破り当選。
- フィツォ政権は、就任以来、強権的な政策発動: 汚職摘発を専門とする特別検察官制度の廃止; 国営放送局(RTVS)の廃止・新放送局の幹部選任への政党関与の強化など。

外交

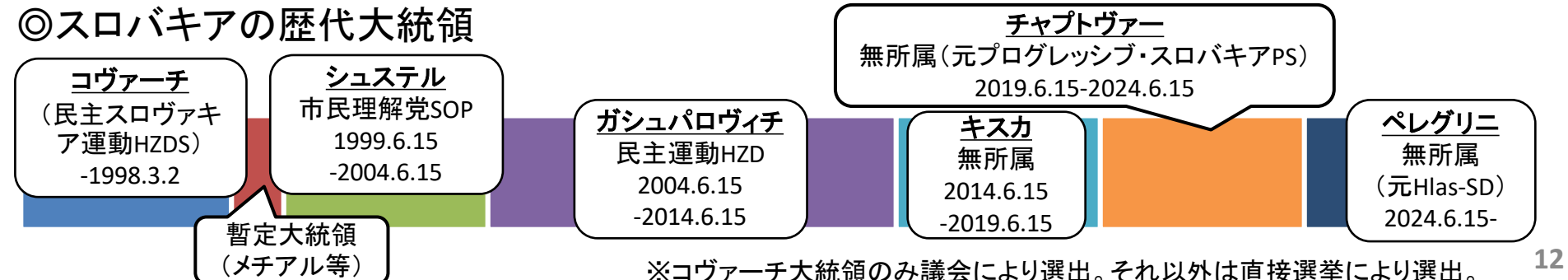
外交：EU・NATOとの協調路線、対露制裁、ウクライナ支援に関し方針転換の懸念

- 基本的な外交方針は維持。西バルカン及び東方パートナーシップ諸国の欧州統合を積極的に支援。
- V4協力を推進（2023年7月～2024年6月チェコ議長国）。ただし、スロバキアはV4の中で最も欧州統合に積極的。
- 露によるウクライナ侵略後、「ウ」への軍事・人道・財政支援を積極的に行ってきた。S-300防空システム、Mig-29戦闘機等を提供し、「ウ」の装甲車等をスロバキア民間企業で修理する契約を締結。NATO東翼強化のため、最大3000人のNATO軍部隊（パトリオット4基を含む）が段階的に国内に配備されている（2023年9月時点で1100人のNATO軍が駐留）。
- 天然ガス及び原油の露依存度がEUで最も高い国の1つであるが、エネルギーの供給源の多角化に取り組む。
- 対露政策につきEUと足並みを揃えていた（対露制裁に一貫して賛成）前OLaNO政権に比して、現Smer-SD連立政権は親露的な姿勢・発言が目立ち、「ウ」への軍事支援停止・「ウ」のNATO加盟不支持を公言するも、スロバキア企業の商業ベースの武器輸出は容認する姿勢。2024年4月の「ウ」との両政府合同会合では、「ウ」の早期EU加盟を含めたユーロアトランティックな共同体への統合に対し支持を表明するも、国内向けには「ウ」のNATO加盟反対の姿勢を維持。

スロバキアの歴代政権・大統領



◎スロバキアの歴代大統領



スロバキア国会総選挙結果(2023年9月30日)

投票率: 68. 51%

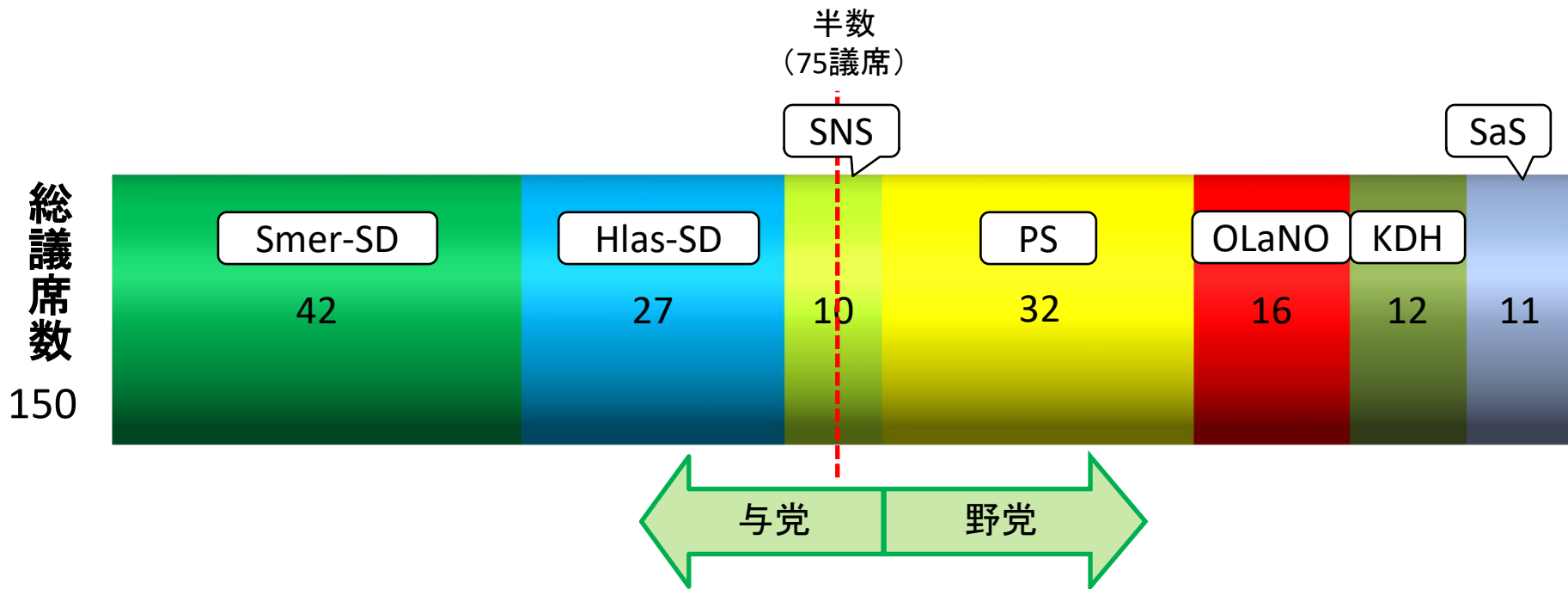
政党名		得票率	議席数	改選前
方向－社会民主主義 (Smer-SD)	左派 ポピュリスト	22. 94%	42	27
プログレッシブ・スロバキア (PS)	中道左派リベラル	17. 96%	32	1
声－社会民主主義 (Hlas-SD)	中道左派	14. 70%	27	12
「普通の人々・独立した人達」と友人達 (OLaNO a priatelí)	中道右派 ポピュリスト	8. 89%	16	36
キリスト教民主運動 (KDH)	中道右派	6. 82%	12	0
自由と連帯 (SaS)	右派	6. 32%	11	20
スロバキア国民党 (SNS)	民族主義 ポピュリスト	5. 62%	10	3

スロバキア国民評議会: 一院制 定数150

選挙制度: 全国一区の比例代表制

議席獲得のための必要最低得票率: 5% (政党連合の場合は7%)

一院制 定数150 任期4年



【与党(79議席)】

方向-社会民主主義(Smer-SD): 左派、ポピュリスト
 声-社会民主主義(Hlas-SD): 中道左派
 スロバキア国民党(SNS): 民族主義、ポピュリスト

【野党(71議席)】

- ・プログレッシブ・スロバキア(PS): 中道左派リベラル
- ・「普通の人々・独立した人々」と友人達(OLaNO a priatel'ia) (現「スロバキア(Slovensko)」): 中道右派、ポピュリスト
- ・キリスト教民主運動(KDH): 中道右派
- ・自由と連帯(SaS): 右派

スロバキア大統領選挙結果(2024年3月・4月)

第1回投票(2024年3月23日)

投票率:51.91%

候補者		得票数	得票率	
イヴァン・コルチョク	元外相	95万8393	42.51%	第2回投票へ
ペテル・ペレグリニ	Hlas-SD党首・国会議長	83万4718	37.02%	第2回投票へ
シュテファン・ハラビン	元法相・元最高裁判所長官	26万4579	11.73%	
クリスティアーン・フォロー	Aliancia(ハンガリー系政党)党首	6万5588	2.90%	
イゴル・マトヴィチ	政党連合「スロバキア」党首	4万9201	2.18%	
ヤーン・クビシュ	元外相	4万5957	2.03%	

※得票率2のみ%以上表記

第2回投票(2024年4月6日)

投票率:61.14%

候補者		得票数	得票率
ペテル・ペレグリニ	Hlas-SD党首・国会議長	140万9255	53.12%
イヴァン・コルチョク	元外相	124万3709	46.87%



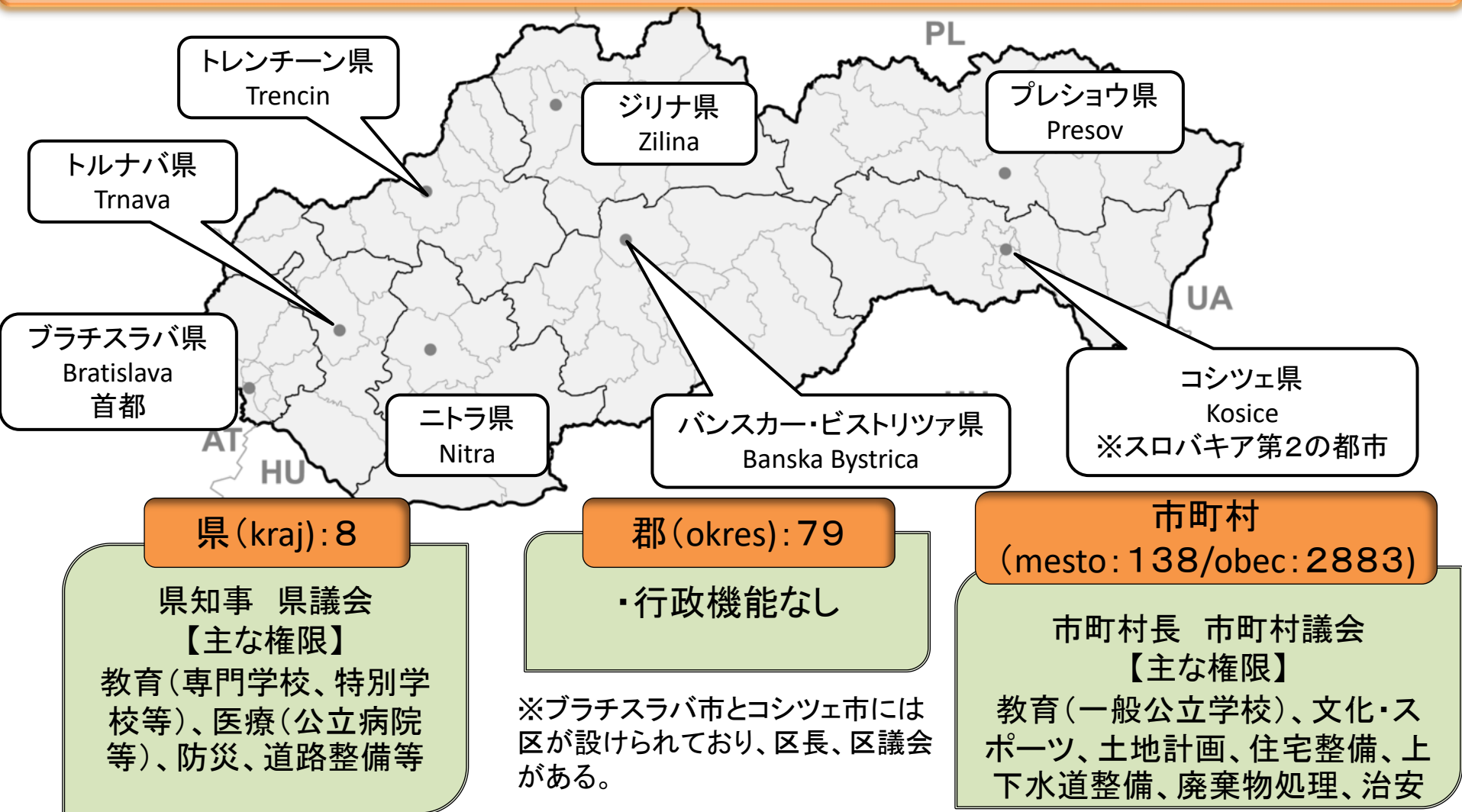
スロバキア政治の未熟

- スロバキア社会の多様な価値観を十分に反映できない選挙制度(全国1選挙区)
 - ✓ 都市部 vs 地方(中山間地)
 - ✓ ブラチスラヴァ(ハプスブルグ・西部) vs コシツェ(ハンガリー・東部)
- 公共政策提言機能が未熟な政党:「ボス支配」の構造
 - ✓ OLaNO、Smer-SDなど主要政党は全て「ボス」の個人商店
 - ✓ 健全な公共政策立案のための人材・組織(ガバナンス)ともに欠如
 - ✓ 地方組織を持っている点がSmer-SDの強み
- もともとミスインフォメーション・ディスインフォメーションに脆弱な国民？
 - ✓ 歴史的、地理的な要因？
 - 「ネーション・ビルディング」の歴史は30年
 - 周辺国とは異なり、過去の「栄光の歴史」を持たないひとびと
 - 9割が中山間地の国土。一つ谷を越えれば「方言」が違う保守性。
 - ✓ 継続する頭脳流出:「スロバキア人学生の5人に1人は国外」

スロバキア政治の未熟

- 今後の成長への展望が依然不確実
 - ✓ これまでは「自動車産業一本足打法」による経済成長の達成
 - ✓ 一方、長期にわたるSmer-SD政権のもとで、権力と既得権層（オリガルヒ）の癒着、司法・警察を含めた腐敗の蔓延、格差社会の進行
 - ✓ 所得水準の向上に伴い、従来成功した「労働集約型」成長モデルから「知的集約型」成長モデルへの転換が急務だが、その青写真（頭脳流出への対応、高等教育改革、少子高齢化への対応を含めて）はまだ描けていない
- ますます進む社会の分断
 - ✓ Smer-SD時代の腐敗の撲滅を掲げた旧中道右派政権も、その政治・行政的未熟や政権リーダー間の個人的不和をもとに崩壊。国民の政治への不信を助長。
 - ✓ コロナ時期の「アンチ・ヴァクサー」キャンペーン、2022年初のスロバキアと米国の二国間防衛協定を巡るキャンペーン、ウクライナ侵攻以降のロシア寄りのキャンペーン、LGBTQ問題（2022年10月にはLGBTナイトクラブへの銃撃殺害事件も発生）などを通じて、スロバキア社会の分断・両極化はさらに進行。
 - ✓ 6月の欧州議会選挙の結果へも影響？

スロバキアの地方自治体



スロバキアの少数民族・宗教

2021年国勢調査

【民族構成※】

スロバキア: 83. 8%
ハンガリー: 7. 8% (8. 4%)
ロマ: 1. 2% (2. 9%)
ルシーン: 0. 4% (1. 2%)

【母語】

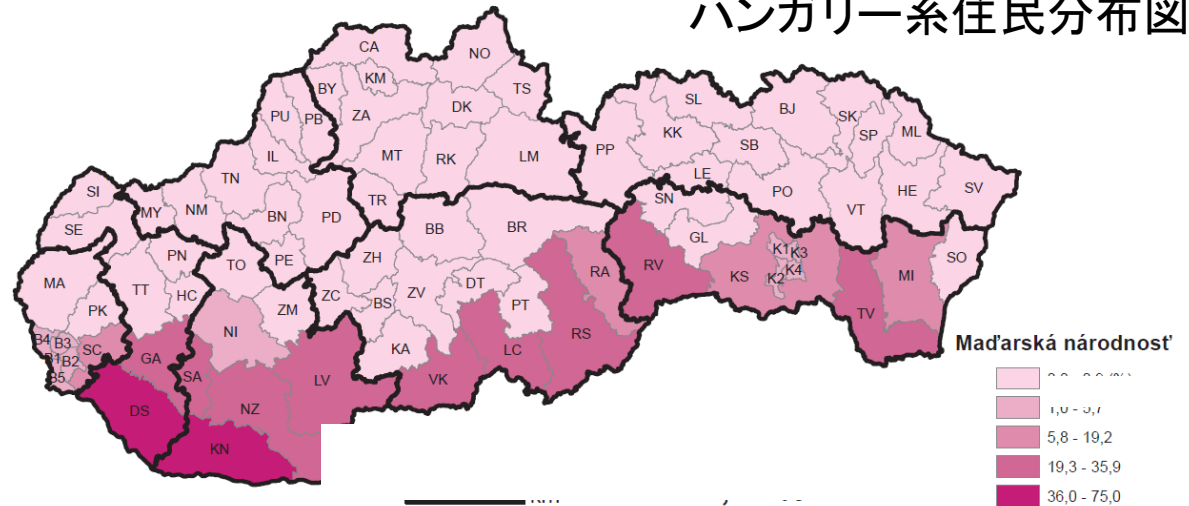
スロバキア語: 81. 8%
ハンガリー語: 8. 5%
ロマ語: 1. 8%

【宗教】

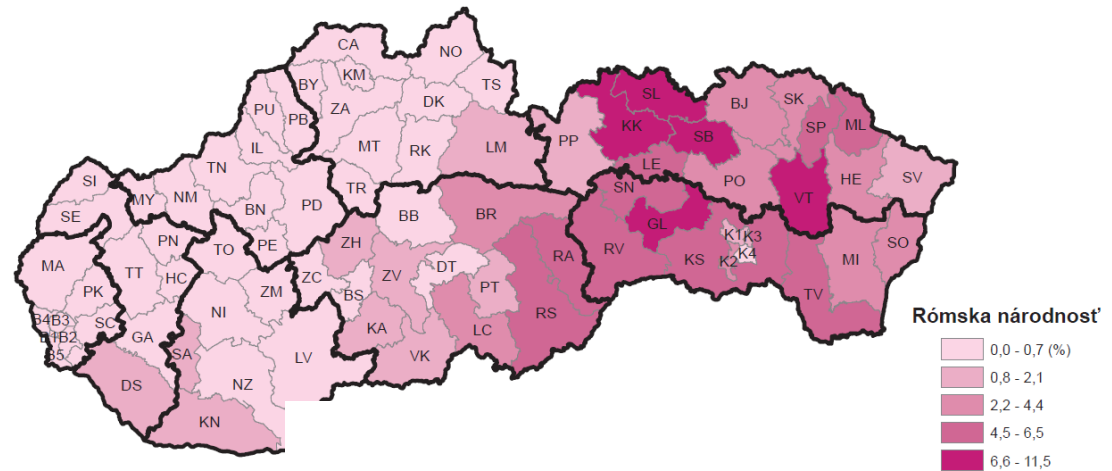
カトリック: 55. 8%
プロテスタント
(ルター派): 5. 3%
ギリシャ・カトリック: 4%

国勢調査は自己申告制であるため、民族構成の実態を必ずしも反映していない。
内務省調査によると、ロマの実際の人口比率は約7～8% (2019年)。

ハンガリー系住民分布図



ロマ系住民分布図



※2021年国勢調査から、帰属民族を2つ回答できるようになった。括弧内の数値は、2つ目の帰属民族として回答した人数の全人口あたりの割合。

スロバキア国会総選挙結果(2023年9月30日):地域別得票率

郡別の首位政党



※Alianciaはハンガリー系政党

Party abbreviation

● PS ● SMER-SD ● SZÖVETSÉG - ALIANCIA ● KDH ● HLAS-SD ● OĽANO A PRIATELIA, KÚ A ZA ĽUDÍ

Source: Statistical Office SR

県別の政党別得票率

※得票率5%以上の政党を記載

ブラチスラバ県	トルナヴァ県	トレンチーン県	ニトラ県	ジリナ県	バンスカー・ビストリツァ県	プレシヨウ県	コシツェ県	在外投票
PS: 31.00%	Smer-SD: 22.01%	Smer-SD: 29.47%	Smer-SD: 25.31%	Smer-SD: 25.79%	Smer-SD: 22.89%	Smer-SD: 22.04%	Smer-SD: 21.10%	PS: 61.70%
Smer-SD: 18.54%	PS: 17.07%	PS: 16.63%	PS: 14.42%	Hlas-SD: 16.04%	Hlas-SD: 19.76%	Hlas-SD: 16.16%	Hlas-SD: 15.08%	SaS: 10.80%
SaS: 12.50%	Aliancia: 12.69%	Hlas-SD: 16.40%	Hlas-SD: 14.40%	PS: 15.51%	PS: 14.96%	OĽANO: 14.78%	PS: 14.68%	Smer-SD: 6.10%
Hlas-SD: 10.36%	Hlas-SD: 12.11%	SNS: 7.28%	Aliancia: 13.91%	KDH: 9.38%	OĽANO: 7.41%	KDH: 14.07%	OĽANO: 13.46%	
OĽANO: 6.17%	OĽANO: 9.40%	OĽANO: 5.93%	OĽANO: 7.47%	SNS: 8.11%	SNS: 6.53%	PS: 10.83%	KDH: 6.80%	
	SaS: 5.36%	SaS: 5.63%		OĽANO: 6.90%	Republika: 5.18%	SNS: 5.73%	SaS: 5.74%	
		Republika: 5.45%		Republika: 5.61%	Aliancia: 5.17%	Republika: 5.22%	Aliancia: 5.44%	
		KDH: 5.44%		SaS: 5.56%	SaS: 5.14%			

スロバキア大統領選挙(2024年3月・4月):地域別得票率

第1回投票・県別得票状況

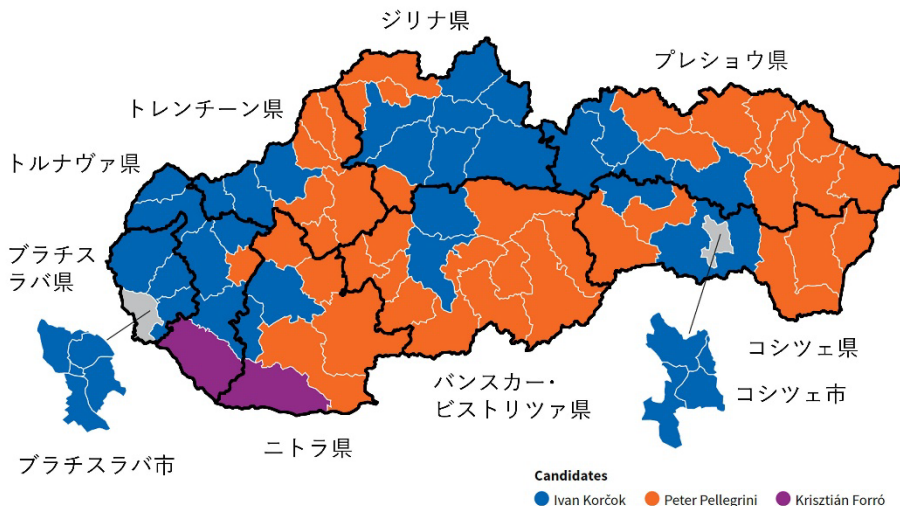
ブラチスラバ県	トルナヴァ県	トレンチーン県	ニトラ県
コルチョク: 62.6%	コルチョク: 42.6%	ペレグリニ: 42.6%	ペレグリニ: 39.1%
ペレグリニ: 23.3%	ペレグリニ: 32.8%	コルチョク: 37.8%	コルチョク: 35.5%
ハラビン: 8.3%	ハラビン: 10.6%	ハラビン: 13.9%	ハラビン: 11.2%
ジリナ県	バンスカー・ビストリツァ県	プレショウ県	コシツェ県
ペレグリニ: 40.4%	ペレグリニ: 43.7%	ペレグリニ: 40.7%	コルチョク: 41.2%
コルチョク: 40.1%	コルチョク: 35.5%	コルチョク: 38.3%	ペレグリニ: 37.4%
ハラビン: 13.3%	ハラビン: 11.4%	ハラビン: 13.9%	ハラビン: 11.6%

第2回投票・県別得票状況

ブラチスラバ県	トルナヴァ県	トレンチーン県	ニトラ県
コルチョク: 66.0%	ペレグリニ: 50.5%	ペレグリニ: 58.3%	ペレグリニ: 58.7%
ペレグリニ: 34.0%	コルチョク: 49.5%	コルチョク: 41.7%	コルチョク: 41.3%
ジリナ県	バンスカー・ビストリツァ県	プレショウ県	コシツェ県
ペレグリニ: 56.1%	ペレグリニ: 61.0%	ペレグリニ: 57.4%	ペレグリニ: 54.4%
コルチョク: 43.9%	コルチョク: 39.0%	コルチョク: 42.6%	コルチョク: 45.6%

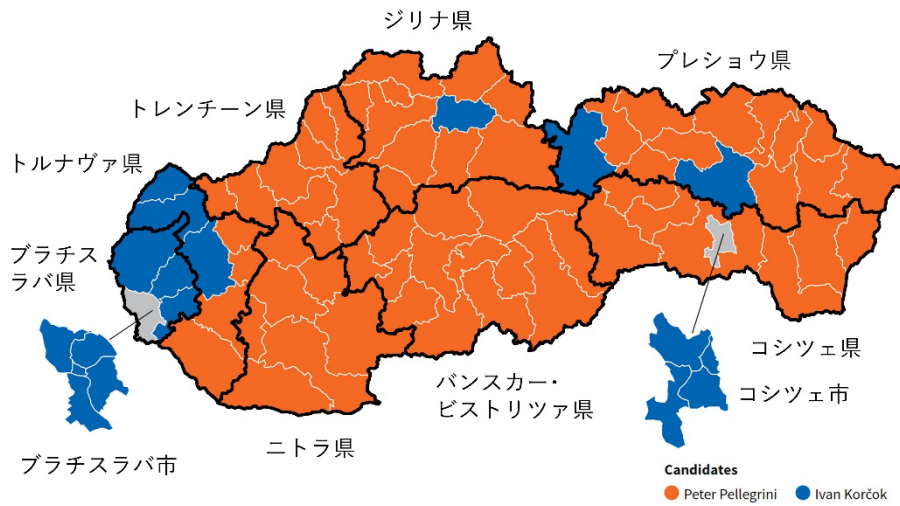
出典: SME紙電子版

第1回投票・郡別得票トップ



Source: Statistical Office SR

第2回投票・郡別得票トップ



Source: Statistical Office SR

スロバキアの自動車産業

※括弧内の年数は
進出年

総生産台数: 108万台
人口1000人当たりの生産台数: 198台(世界1位)

ステランティス

トルナバ(2003年)
雇用者数: 4500人
生産台数: 26.4万台

KIA

ジリナ近郊(2004年)
雇用者数: 3700人
生産台数: 35万台

フォルクスワーゲン(VW)

ブラチスラバ(1991年)
雇用者数: 1万1700人
生産台数: 32.9万台

ジャガー・ランドローバー (JLR)

ニトラ(2018年)
雇用者数: 4900人
生産台数: 19万台

ボルボ(予定)

コシツェ近郊(2026年)
雇用者数: 3300人
生産台数: 25万台
※EVのみを製造

※2023年のデータ。

スロバキア経済の牽引役

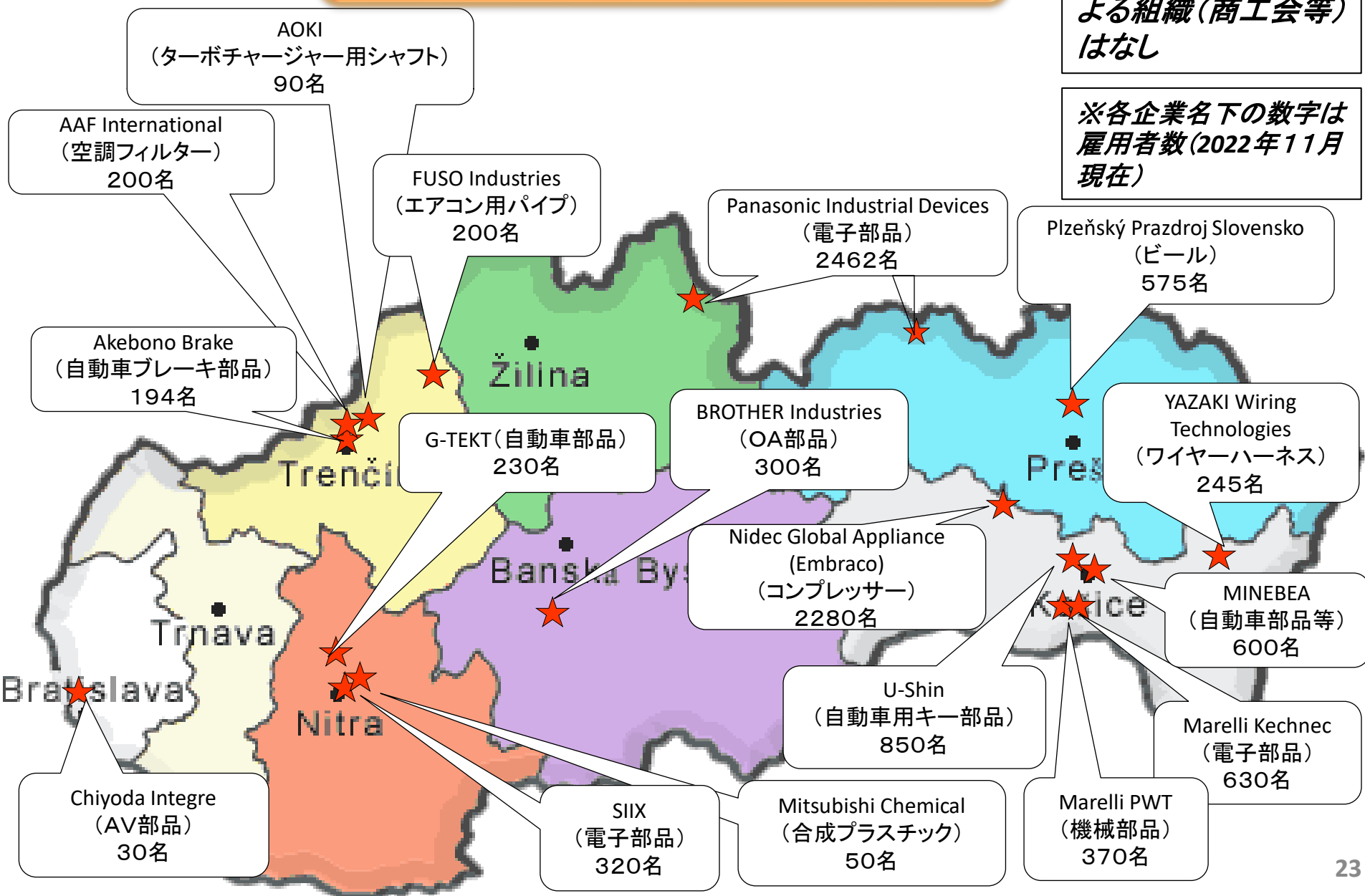
- ・全輸出に占める自動車部門のシェア: 41.4%
- ・GDPに占める自動車産業の割合: 13.0%
- ・自動車産業の直接雇用者数: 17万0000人
- ・自動車産業の間接雇用者数: 25万5000人

※出典: スロバキア自動車産業協会(ZAP)(2023年のデータ)
GDP比のみ2021年のデータ。

日系企業(製造業)所在地

※進出日系企業による組織(商工会等)はなし

※各企業名下の数字は雇用者数(2022年11月現在)



御清聴ありがとうございました。

中川真連絡先

Email: mnakagawa1222@gmail.com

携帯電話: 080-9978-5686